

令和2年度 基本事業評価シート（令和元年度実績評価）

政策 06 みんなで築くまち
 施策 02 協働によるまちづくりの推進
基本事業 02 市民活動の活性化
 主管課：市民協働推進課
 関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、市民活動団体	市民の自主的な参加により、市民活動が活発に行われるようになります。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

市民活動に参加している市民の割合 (%)				市民協働推進課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
12.80	11.20	10.30	18.00	20.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して0.9ポイント減少していますが、統計誤差の範囲と考えられるため、成果は横ばい状態です。		
対前年度	横ばい	(原因) 「興味や関心がないので、参加する気はない」と答えた市民が約42%（前年度40%）と増加傾向にあるのが気がかりですが、「参加していないが、今後は参加したい」と答えている市民が約36%という状況がありますので、参加機会の創出に向けた取り組みにより参加者数の増加が期待できます。		
目標達成度	低			
次年度課題	課題とする			

市民活動団体数 (団体)				市民協働推進課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
95.00	86.00	86.00	90.00	105.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して増減なしの横ばい状態です。		
対前年度	横ばい	(原因) 市民活動団体が増加しない原因の一つとして、活動を長く継続する難しさがあると考えられます。会員の高齢化等解決することが難しい状況もありますが、登録団体の活動を周知することにより新たな会員の加入も期待できるため、今後も支援の継続が必要です。		
目標達成度	低			
次年度課題	課題とする			

市民活動団体の参加者数 (人)				市民協働推進課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
2,788.00	2,192.00	2,165.00	2,800.00	3,000.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して27人減少し、成果は減少傾向にあると考えられます。		
対前年度	低下	(原因) 市民活動支援センター登録団体数に変動がないのに、参加者数が減少した原因の一つとして、高齢化より活動を継続できない会員が発生していることが考えられます。登録団体を増やす取組や既存団体への新たな会員の加入のための支援を行うことで、参加者数の増加も期待できます。		
目標達成度	低			
次年度課題	課題とする			

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針				
対前年度				
目標達成度				
次年度課題				

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H29年度 決算	H30年度 決算	R01年度 決算	R02年度 予算	R03年度 見込
事業費合計	96,548	63,422	22,824	33,831	33,431
人件費	5,875	17,969	21,824	0	0
トータルコスト	102,423	81,391	44,648	33,831	33,431

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>市民活動支援センターの運営委託をしているNPO法人のノウハウを生かした市民活動団体の相談業務を行いました。</p> <p>地域の課題解決や活性化に取り組む「まちづくり協議会」が平成30年度設立の3団体に加え、今年度は新たに6団体が設立されました。</p> <p>本年度は、残る1地域での速やかな設立に向け協議を継続するとともに、市民活動がより活発化するよう支援の継続が必要ですが、新型コロナウィルス感染防止策を施した上での取り組みになるため、飛躍的な成果の向上は難しいと考えられます。</p>	推進状況	不調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価